

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2 年生	期 別	前期 週1 後期 週2	科目の実務経歴	無
授業科目名	人体の構造と機能V			担当教員	山口茉莉・小谷奉弘		
授業の方法	講 義			単位数	3 単位	時間数	90時間
学修内容	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として、患者の診察及び治療にあたって、必要な人間の身体の構造及び機能について学ぶ						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 1. 人体の構造と機能について理解する。						
授業計画	前 期			後 期			
	回	火曜日テーマ	回	火曜日テーマ	回	月曜日テーマ	
	1	解剖学の復習：泌尿器系	1	前期内容の復習 生理学：第9章 生殖・成長と老化 A. 生殖	1	11章 筋 A. 骨格筋の構造と働き	
	2	生理学：第7章 排泄 A. 腎臓の働き	2	生理学：第9章 生殖・成長と老化 B. 妊娠と出産 C成長	2	11章 筋 B. 筋の収縮の仕組み	
	3	生理学：第7章 排泄 A. 腎臓の働き	3	生理学：第9章 生殖・成長と老化 D. 老化 まとめと復習	3	11章 筋 B. 筋の収縮の仕組み	
	4	生理学：第7章 排泄 B. 腎循環	4	解剖学：第9章 感覚器系 1. 視覚器 2. 平衡聴覚器	4	11章 筋 C. 筋のエネルギー供給の仕組み	
	5	生理学：第7章 排泄 C. 尿生成	5	生理学：第13章 感覚 F. 聴覚 G. 平衡感覚 H. 視覚	5	11章 筋 C. 筋のエネルギー供給の仕組み	
	6	生理学：第7章 排泄 D. 腎臓と体液の調節	6	生理学：第13章 感覚 A. 感覚の分類と一般的性質	6	11章 筋 D. 心筋と平滑筋	
	7	生理学：第7章 排泄 E. 蓄尿と排尿	7	生理学：第13章 感覚 B. 体性感覚 C. 内臓感覚 D. 痛覚	7	11章 筋 D. 心筋と平滑筋	
	8	解剖学のまとめ・確認	8	解剖学：第9章 感覚器系 1. 味覚器 2. 嗅覚器 生理学：第13章 感覚 E. 味覚と嗅覚	8	中間試験、総合演習	
	9	生理学第7章のまとめと復習	9	生理学：第13章 感覚 H. 視覚 まとめと復習	9	12章 運動 A. 骨格筋の神経支配	
	10	解剖学：第6章 生殖器系 1. 男性生殖器	10	6章 体温 A. 体温調節 B. 体熱の産生と放散 C. 発汗とその調節	10	12章 運動 A. 骨格筋の神経支配	
	11	解剖学：第6章 生殖器系 2. 女性生殖器	11	6章 体温 D. 体温調節の障害	11	12章 運動 B. 運動の調節	
	12	解剖学：第6章 生殖器系 3. 受精と発生	12	15章 身体活動の協調	12	12章 運動 B. 運動の調節	
	13	解剖学のまとめ・確認	13	15章 身体活動の協調	13	12章 運動 C. 錐体路と錐体外路系	
	14	生理学第6章のまとめと復習	14	後期まとめと復習	14	12章 運動 C. 錐体路と錐体外路系	
15	期末試験対策	15	期末試験対策	15	12章 運動 D. 発声と言語		
評価基準	評価：90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	各種小テスト、定期試験により総合的に評価いたします			実務経歴	山口;教員歴13年 小谷;教員歴22年		
履修上の注意	1年次および2年次の人体の構造と機能(I・II・III・IV)の内容を基に授業を進めます。			授業時間外の学習	人体の構造と機能(I・II・III・IV)の内容を随時復習すること。		
使用教材	東洋療法学校協会 編「生理学」「解剖学」 MEDIC MEDIA からだがみえる 人体構造機能			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。		